

衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所ホームページ(衛生研究所WEBページ)は、平成10年3月に開設され、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報等を提供しています。

今回は、平成26年7月のアクセス件数、アクセス順位、電子メールによる問い合わせ、WEB追加・更新記事について報告します。

なお、アクセス件数については市民局広報課から提供されたデータを基に集計しました。

1 利用状況

(1) アクセス件数 (平成26年7月)

平成26年7月の総アクセス数は、150,692件でした。主な内訳は、感染症情報センター66.2%、食品衛生5.2%、保健情報9.1%、検査情報月報5.6%、生活環境衛生2.7%、薬事0.9%でした。

(2) アクセス順位 (平成26年7月)

7月のアクセス順位(表1)

表1 平成26年7月 アクセス順位

は、第1位が「クロストリジウム-ディフィシル感染症について」、第2位が「B群レンサ球菌(GBS)感染症について」、第3位が「サイトメガロウイルス感染症について」でした。

順位	タイトル	件数
1	クロストリジウム-ディフィシル感染症について	7,228
2	B群レンサ球菌(GBS)感染症について	3,953
3	サイトメガロウイルス感染症について	2,980
4	衛生研究所トップページ	2,849
5	EBウイルスと伝染性単核症について	2,626
6	サルモネラ感染症(食中毒)について	2,497
7	エンテロウイルスについて	2,371
8	ぎょう虫(蟻虫)症について	2,269
9	リステリア症について	2,073
10	調査研究・試験検査機関のあり方に関する報告書	1,864

データ提供: 市民局広報課

7月の総アクセス数は、前月に比べ11%ほど増加しました。今月の1位は、「クロストリジウム-ディフィシル感染症について」でした。クロストリジウム-ディフィシル

感染症は、老人や免疫機能が低下している人たちに多く発生します。2位には「B群レンサ球菌(GBS)感染症について」が入っています。また、7位に「エンテロウイルスについて」が入りました。エンテロウイルスは夏から秋にかけて多く発生します。こどもの夏のカゼの代表としてよくあげられる[手足口病](#)や[ヘルパンギーナ](#)を起こすウイルスは、エンテロウイルスに属します。

「クロストリジウム-ディフィシル感染症について」に関連する情報

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/idsc/disease/clostridium1.html>

「B群レンサ球菌(GBS)感染症について」に関連する情報

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/idsc/disease/gbs1.html>

「サイトメガロウイルス感染症について」に関連する情報

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/idsc/disease/cytomegalol.html>

(3) 電子メールによる問い合わせ（平成26年7月）

平成26年7月の問い合わせは、3件でした(表2)。

表2 平成26年7月 電子メールによる問い合わせ

内容	件数	回答部署
ヒトパレコウイルスの診断について	1	感染症・疫学情報課
ヒトパレコウイルスの診断について	1	検査研究課ウイルス担当が回答案作成し、 感疫課から回答
ペスト予防について	1	感染症・疫学情報課

2 追加・更新記事（平成26年7月）

平成26年7月に追加・更新した主な記事は、8件でした(表3)。

表3 平成26年7月 追加・更新記事

掲載月日	内容	備考
7月 1日	感染症に気をつけよう(7月号)	掲載
7月 7日	ソマリアのこどもの定期予防接種について	掲載
7月10日	◆パンフレット◆ 腸管出血性大腸菌感染症 O157に注意しましょう！	更新
7月10日	腸管出血性大腸菌感染症の発生状況	掲載
7月10日	平成26年 熱中症情報	掲載
7月10日	平成26年 熱中症情報	更新
7月18日	エチオピアのこどもの定期予防接種について	掲載
7月26日	◆お知らせ◆ 感染症法が一部改正 【 届出基準・届出様式 】	変更

【感染症・疫学情報課】